



だれもが最初はヤバレジだった
聖路加チーフレジデントが
あなたをできるレジデントにします!

聖路加国際病院 内科チェアマン 監修 ● 岡田 定
聖路加国際病院 内科チーフレジデント 執筆 ● 猪原 拓 山添正博
小山田亮祐 藤井健夫

<p>ヤバレジ：研修1年目レジデント。ガッツはあれど、なぜかいつも空回り。性格は素直で快活。体力には自信アリ!</p>	<p>チーフレジ：念願のチーフレジに就任し、気合と意欲は充分。今度こそ頼れる先輩と呼ばれるか!? おとぼけは健在か!?</p>
<p>デキレジ：研修2年目レジデント。お嬢様育ちでマイペース。教科書的知識を駆使してできるところを見せたいが...</p>	<p>アテンディング：指導医。レジデントのみんなを、やさしく、ときに厳しく見守る。</p>



連載 第11回

循環作動薬を使いこなそう

山添正博

First Step：血管拡張薬として硝酸薬を使いこなそう

Second Step：多様な作用を持つカルペリチドを理解しよう

Third Step：強心薬を正しくイメージしよう

First Step：血管拡張薬として硝酸薬を使いこなそう

- CS (クリニカルシナリオ) 1 (図1), Nohria 分類 (図2) wet and warm の急性心不全なら、硝酸薬を使おう。
- 硝酸薬は静脈・動脈拡張作用があり、前負荷、後負荷を軽減し、肺うっ血を主病態とする心不全には有効な薬剤。
- 舌下錠、スプレーは即効性があり、救急現場で使いこなそう。
- 耐性化が問題となるため、急性期は短期使用を心がけよう。

Second Step：多様な作用を持つカルペリチドを理解しよう

- カルペリチドは血管拡張作用、ナトリウム利尿作用、交感神経抑制作用、RAS 系抑制作用があり、いずれも心不全には有利。
- 高用量では血圧低下が多く、少量での使い方がポイント。
- 脱水、低血圧、右室梗塞では禁忌となる。

Third Step：強心薬を正しくイメージしよう

- 低心拍出を伴う心不全には強心薬が必要となる場面が多い。
- 強心薬は心収縮力、血管拡張、血管収縮の3つの軸でイメージしよう (図3)。
- 心不全にはその作用機序からドブタミン、PDE 阻害薬が理にかなっている。

CS1	CS2	CS3
SBP>140 mmHg	SBP100~140 mmHg	SBP<100 mmHg
<ul style="list-style-type: none"> ● 急激な発症 ● びまん性肺水腫 (軽度全身浮腫) ● 血管不全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 緩徐な発症 (体重増加) ● 軽度肺水腫 ● 他臓器障害 (肝・腎) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 急激、緩徐な発症 ● 組織低灌流徴候がメイン ● 肺水腫、全身浮腫は軽度 ● 低心拍出、心原性ショック
CS4	CS5	
急性冠症候群	右心不全	

図1 CS (クリニカルシナリオ)

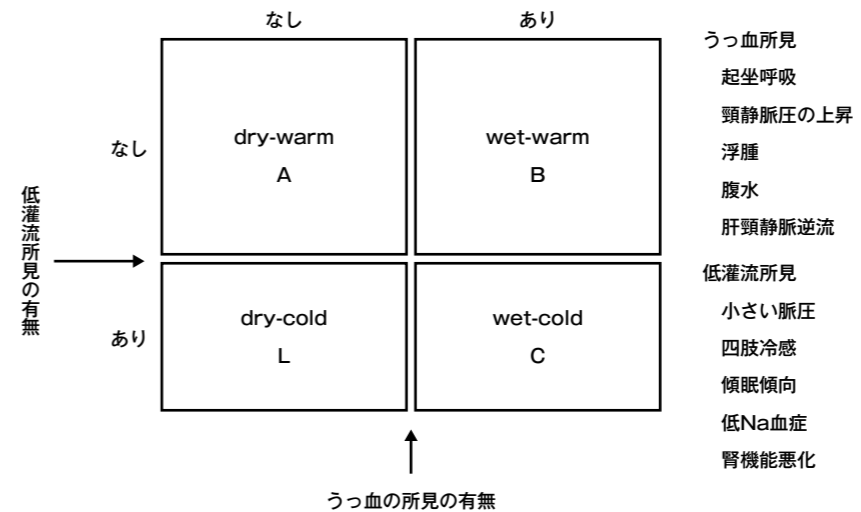


図2 Nohria-Stevenson の分類

循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2010 年度合同研究班報告)。急性心不全治療ガイドライン (2011 年改訂版) http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2011_izumi_h.pdf (2012 年 12 月 12 日閲覧) より転載

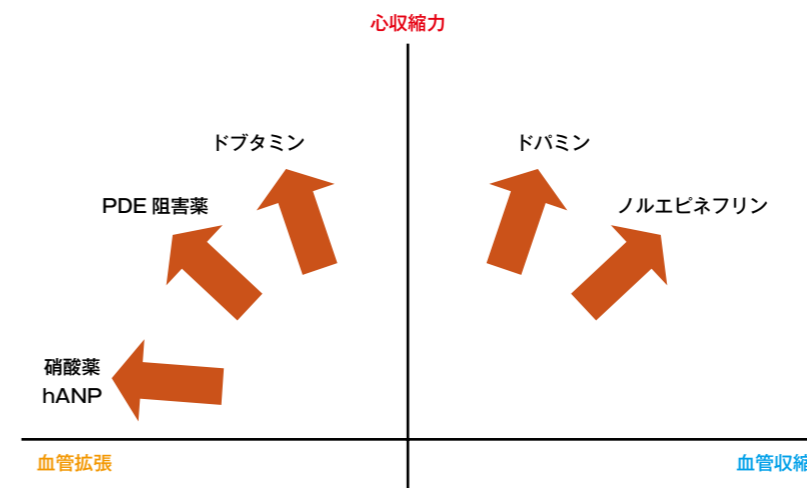


図3 強心薬のイメージ